

キャラクター名
日暮 なずむ (ひぐれ -)

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー エグザイル		ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	
	オプション		年齢	14→19	性別	男
覚醒	渴望	衝動	憎悪		初期侵食率	35 %
出自	犯罪者の子	経験	記憶喪失	邂逅	いいひと	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	37
肉体	4	1	2	1		8	行動値	3
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	3
精神	1	0	0			1	戦闘移動	8
社会	2	0	0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	8		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志		1	調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
混沌なる者の槍		3r-2	4	12		HR86、2種類のシンドローム組み合わせでダイス+3、他武器装備不可。
		0				
100以下	白兵	13r+6	9	22		
100以下アマテラス	白兵	11r+6	9	34		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	
ウェポンケース	
スーパーリアルネットワーク	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
器物使い	P	N		
UGN	P 尽力	N 無関心		
夜伽くじら	P 友情	N 憤懣		
謎の少女	P 執着	N 偏愛		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:サラマンダー	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値-Lv(下限7)								
伸縮腕	2	2	メジャー	視界	-	対決	-	
効果: EA67、射程を視界に変更。判定ダイス-[3-Lv]個								
炎の刃	5	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: EA109、攻撃力+[Lv×2]								
アマテラス	3	4	メジャー	-	単体	-	リミット	
効果: HR83、炎の刃と組み合わせて使用。攻撃力+[Lv×4]、ダイス-2								
異形の祭典	2	3	メジャー	-	Lv+1体	対決	-	
効果: EA65、対象を[Lv+1]体に変更。								
ヒュドラの怒り	5	4	セットアップ	至近	自身	自動	100	
効果: EA70、そのラウンド間、攻撃力+[Lv×3]メジャーダイス+3、効果中暴走。タイタス以外で回復できない。								
螺旋撃	2	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: EA69、そのメインプロセスの間、あなたのメジャーアクションに対するリアクションはクリティカル値+1される。								
熱感知知覚	★							
効果:								
異形の歩み	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

一人称: ぼく 二人称: お前、君
子供っぽい口調、ガキ、よく笑う

なぜかいつも手錠をしているチルドレン。拘束されているがエグザイルなので関節とか無視して変則的な攻撃をする。友達が第一の子供。

PC1
カヴァー/ワークス 任意/UGNチルドレン
ロイス:夜伽くじら
推奨感情:任意/任意(友情恋愛感情殺意等ビッグで強めな感情ならなんでも大丈夫です)
※13歳~18歳限定
キミは〇〇支部のUGNチルドレンである。同期の夜伽くじらとは仲が良く、いつもコンビを組んで任務を行なっている。最近この市付近でエージェントやフリーランスのオーヴァードの失踪事件が多発している。キミは、他のPCと夜伽、風花とともにチームを組みこの事件の調査にあたることになった。

PC1
カヴァー/ワークス 任意/UGN関係者
ロイス:謎の少女
推奨感情:任意/任意
キミは耀支部のエージェントまたはイリーガルである。ある日の任務中、ボロボロの少女と出会う。その少女は、髪型や服装は異なるものの、あの日死亡したはずの夜伽くじらと同じ姿をしていた。